



姉妹・友好都市 見てある記

らいほうとう
雷峰塔

中華人民共和国 杭州市



雷峰塔は、杭州一の景勝地・西湖の南岸にある夕照山(雷峰)にあり、975年に北宋時代の呉越王が黄妃の出産を祝って建てられたもので、「黄妃塔」と名づけられました。

その後、度重なる戦争による損傷や老朽化で、1924年に倒壊してしまいましたが2002年に復元され、七層八角、高さ70mの塔としてよみがえり、雷峰塔と呼ばれるようになりました。

この塔は、外からの眺めが有名です。茜色の夕焼けに輝く雷峰塔は、西湖十



景の一つ「雷峰夕照」とたたえられ、西湖と一体となった風景は、まさに中国の芸術品です。

残しておきたい 夕山の風景 ⑤

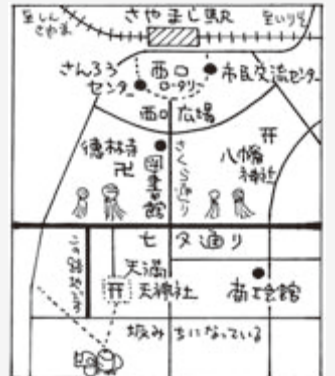
七夕の見える路地 (入間川地区)



題字・童絵/池原昭治氏

入間川の街中は小さな坂の多いところで、七夕通りに面して路地もたくさんあります。

天満天神社の横の路地は、お化け屋敷の裏あたりで小さな坂になっています。すぐ正面には七夕まつりの飾りが風に吹かれて涼しそうです。坂の下は子ども達にとって格好の遊び場だったそうです。



分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょう？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。なお、答えと一緒に広報さやまを見て感じたことなど、ご意見もお待ちしています。

締切り8月31日(金)

7月号の答え

7ページ・狭山の今昔物語「入間川七夕まつり・阿波踊りのうちわ」の写真でした。



市民の作品展

俳句

狭山市俳句連盟の選による作品を掲載します。

- 雷雲を裂きてジェット機上昇す 上野香代子
- それぞれの飛翔の姿花菖蒲 上野しげお
- 梅雨晴間都電の停まる小さき駅 小高 和子
- 父の日や父の齢を越えて今 山崎 京子
- 吹き渡る風のにほいや麦の秋 宮岡 操
- ひたひたと地蔵を洗ふ走り梅雨 土子 昭司
- パラソルの幅に朝採り野菜売る 鈴木謙二郎

編集後記

市民交流センターのオープンに先駆けて開催した完成記念イベントには、暑い中にもかかわらず、多くの方にご来場いただきました。私は、職員の出店にボランティアで参加しましたが、売り子として声を張り上げる自分の姿に学生時代を懐かしみながら、たくさんの方々とふれあい、大変楽しい時間を過ごしました。さて、夏休みも残り半分。小中学生の皆さんは、宿題に追われながらも、楽しい毎日を過ごしていますか。市では、博物館の企画展など、さまざまなイベントを開催していますので、広報さやまやホームページをご覧ください。ぜひお出かけください。

👁️で見る「さやま」

■人口と世帯(市民課) ※8月1日現在
 男 78,732人 7月9日の外国人登録法の廃止と住民基本台帳法の改正により、転入・転出等の内訳は休載します
 女 77,205人
 合計 155,937人
 世帯 65,342世帯

■7月の火災・救急件数(消防本部)
 火災件数 3件(その他3件)
 救急出動件数 575件(搬送人員527人)

■交通事故・刑法犯罪件数(狭山警察署)
 交通事故 1,886件(人身事故436件 内死者3人、物件事故1,450件)
 刑法犯罪 941件(侵入窃盗72件、車上狙い83件、自動車盗等47件、その他739件)

※平成24年1月1日～7月15日の累計(概数)